

近赤外蛍光検出式食中毒菌検査装置

～食中毒菌の瞬時検出～

名古屋大学 生命農学研究科 教授 中野秀雄、青山学院大学 理工学部 准教授 淵 真悟
京都高度技術研究所 主幹研究員 三宅司郎、科学技術交流財団 研究員 加藤晃代
株式会社榎屋 松村 覚

▶〈関連ページ〉20ページ

狙い 食品の製造工程において、非培養で迅速に食中毒菌の有無を検査する。

用途 微生物の非培養検査において、検査結果を迅速に得るために使用する。

具体的には食品中の食中毒菌の陽性・陰性判定に使用可能。

特長

- 近赤外蛍光ガラス粒子と食中毒菌に対するモノクローナル抗体を組み合わせた新規な検出技術。
- モノクローナル抗体を組み合わせて食中毒菌を同定可能。
- 近赤外領域の波長を検出することにより、食品由来残渣の自家蛍光(ノイズ)を区別可能。

仕様

外 寸／W:250×H:350×D:300mm(本体部)

重 量／18kg

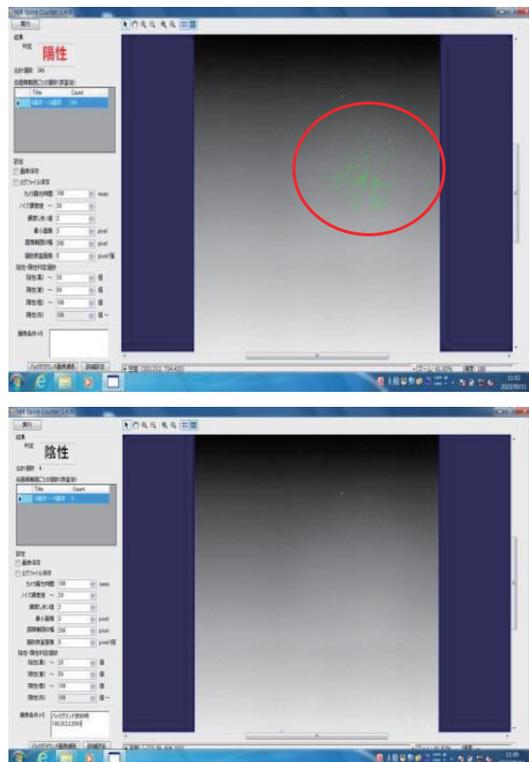
その他／LED光源(付属品)、PC

- ・自動識別ソフトウェア
- ・専用抗体標識蛍光ガラス粒子使用



近赤外蛍光検出式食中毒菌検査装置

検出例



- お問い合わせ／株式会社榎屋 執行役員 画像システム部 松村 覚
e-mail : smatsumu@tsuchiya-group.co.jp 電話番号 : 052-331-5451 FAX : 052-332-5191
- 特許の有無 : 特願2013-103740、特願2014-122773